

イスラエルのための祈り フルクテンバウム博士の独訪問

2026年9月27日恵比寿BF



フルクテンバウム博士とハーベストタイム

- ・ 2001年から2016年まで ハーベストタイム主催でフルクテンバウム博士セミナー開催。日本人クリスチャンの目からたくさんの方のウロコを落として下さる
- ・ ヘブライ的視点で聖書を読むことを教えて下さっている
- ・ 聖書におけるイスラエルの重要性をディスペンセーション神学の立場から教えて下さったので、私たちは聖書の教えに基づいて イスラエルのための祈りを継続している群れである

フルクテンバウム先生

- ・ 1943年9月26日 シベリア生まれ。父がスパイ疑惑で投獄。
- ・ 1946年 戦後 父親の出身地ポーランドに一時帰国するが、西ドイツの避難民キャンプで5年間過ごす。父ハイムからユダヤ教正統派の訓練を受ける。ドイツ出国直前にルーテル派の牧師と知り合い、ABMJ訪問を勧められる。（現Chosen People Ministries）
- ・ 1951年米国から移民許可が出て、一家はニューヨークへ向かう。母アデルとフルクテンバウム少年はNYのABMJ本部訪問
- ・ 1956年 フルクテンバウム先生が救われる！

何度もご奉仕されたドイツ訪問

国際的な聖書教師としての活動
の原点がドイツ

フーレンバルトの博物館
移住前 最後に過ごした避難民
キャンプのあった町

7歳のフルクテンバウム少年が父
の手を握り歩いた通りを辿る追体
験



*Dr. Fruchtenbaum with historian
Dr. Moutafis at Föhrenwald*

宿泊したホテルの部屋 番号ではなく地名で表現



二つ目の訪問地ブレーマハー
フェンのホテル

用意された部屋の名前が「ブルッ
クリン」: フルクテンバウム一家が
戦後ドイツを出国して、アメリカ到
着後 最初に住んだ町
「これは感動的だ」

最後の訪問地 ヴォルムスのラシ ハウス

ラシは中世を代表するユダヤ教の聖書・タルムード註解者



Dr. Fruchtenbaum in the Rashi museum

巡回教師のご奉仕は終了されたが、長年の忠実なご奉仕の影響は残り続ける

イスラエルのための祈り

- ・ 私たちは ハーベストタイム中川先生からユダヤ的視点で聖書を読むことを教えて頂き 聖書を正しく読み 深く理解することができるようになりました。中川先生にとって メシアニック・ジューの神学者フルクテンバウム博士との出会いが大きかったと聞いています。フルクテンバウム先生の長年のご奉仕に感謝の思いが 溢れます。
- ・ フルクテンバウム先生の霊肉が 引き続き 守られますように。アリエル・ミニストリーの働きが豊かに祝福されますように。
- ・ 先生のご奉仕で たくさんの霊的な恵みにあずかった異邦人として これからもユダヤ人の救いのためにイスラエルのために祈り続け、物質的にも奉仕できますように。

彼らは喜んでそうすることにしましたが、聖徒たちに対してそうする義務もあります。異邦人は彼らの霊的なものにあずかったのですから、物質的なもので彼らに奉仕すべきです。ローマ人への手紙 15章27節